

- 問1 九州地方の各県を比較した統計において、温泉の源泉数は184と比較的少ないものの、小麦の収穫量が51,800トンに達し、全国でも有数の生産量を誇っている県はどこですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
1. 愛知県 2. 沖縄県 3. 佐賀県 4. 大分県
- 問2 宮崎市が位置する太平洋沿岸南部の地域で、冬でも温暖な気候となり、かつ夏から秋にかけて降水量が非常に多くなる主な要因の組み合わせとして、正しいものはどれですか。 (2023年 福井県公立入試 類似)
1. 対馬海流の影響と、日本海側特有の冬の季節風の影響 2. 内陸の盆地による影響と、一年を通じて安定した高気圧の影響 3. 暖流である黒潮の影響と、湿った季節風や台風の影響 4. 寒流である親潮の影響と、北西から吹く季節風の影響
- 問3 日本の地方別畜産産出額に関する統計において、九州地方はある品目の産出額が約3348億円に達し、北海道や東北、関東といった他の地方を大きく引き離して全国で最も高い水準にあります。この品目は何ですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
1. 豚 2. 乳用牛 3. 肉用牛 4. 鶏
- 問4 九州地方の5県（佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島）における2014年の耕地面積の統計によると、佐賀県や熊本県では田の面積が畑の面積を上回っていますが、鹿児島県では全耕地面積に占める畑地の割合が突出して高くなっています。鹿児島県においてこのように畑作が盛んである主な理由として、土地の性質について説明したものを選びなさい。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
1. 山間部を切り開いた棚田が多く作られたが、近年の機械化に伴いその多くが果樹園へと転換されたため。 2. 筑紫平野のような平坦な低地が広がっており、排水作業を行って広大な畑地を確保しやすかったため。 3. 火山噴出物が堆積したシラス台地が広く分布しており、水持ちが悪く稲作に不向きであったため。 4. 有明海沿岸の干拓によって得られた土地が、塩分の影響で稲作よりも畑作に適していたため。
- 問5 日本の各県の農業産出額を比較した際、沖縄県には他県と異なる際立った特徴が見られます。その内容と背景について正しく説明しているものはどれですか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
1. 温暖な気候を活かしたさとうきびなどの工芸作物の栽培が盛んで、その産出額の割合が約40パーセントと非常に高い。 2. 平坦な土地と豊富な水資源を活かし、稲（米）の産出額が全体の半分以上を占めている。 3. 大消費地に近い立地を活かして、キャベツやレタスなどの近郊農業による野菜の産出額が最も多い。 4. シラス台地の特性を活かし、広大な土地で茶の生産や肉用牛の飼育が農業の中心となっている。
- 問6 宮崎県などの温暖な地域で見られる、ビニールハウスや温室などの施設を利用して、本来の時期よりも野菜の栽培時期を早める工夫を何といいますか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
1. 露地栽培 2. 抑制栽培 3. 促成栽培 4. 近郊農業
- 問7 中国の経済成長と沖縄観光の関連について述べた次の文のうち、2010年当時の統計的な事実に基づいた正しい記述はどれですか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
1. 中国のGDPが日本を追い抜き世界第2位となった時期に、沖縄を訪れる中国人観光客は1990年代末の約20倍以上に増加した。 2. 中国がGDPで世界第1位を維持し続けた結果、1990年代から毎年10万人以上の中国人観光客が沖縄を訪れていた。 3. 中国のGDPが世界第3位に低下した時期に、沖縄を訪れる外国人観光客の中で中国人の割合が最も低くなった。 4. 中国の生活水準が低下したため、沖縄を訪れる中国人観光客の数は1990年代から2010年にかけて減少に転じた。
- 問8 鹿児島県から宮崎県にかけての九州南部には、過去の巨大な火山活動によって噴出された火山灰や軽石などが厚く積み重なってできた広大な台地が広がっています。この地形の名称として正しいものを選択してください。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
1. シラス台地 2. 扇状地 3. リアス海岸 4. カルデラ
- 問9 鹿児島県から宮崎県にかけて広がる、火山噴出物が堆積してできたシラス台地では、その土地の性質からどのような土地利用が一般的ですか。最も適切な理由と内容の組み合わせを選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 保水力が非常に高く、常に湿り気を帯びているため、大規模な水田地帯として利用されている。 2. 土壌に塩分が多く含まれており農作物の栽培に適さないため、主に工業用地として利用されている。 3. 年間を通して気温が低く土壌が凍結するため、農地にはせず牧草地として利用されている。 4. 非常に水はけが良く、地表に水が溜まりにくいので、古くから畑として利用されている。
- 問10 宮崎県などの温暖な気候を利用する地域で盛んに行われている、ビニールハウスなどの施設を用いて野菜の成長を早め、通常の収穫期よりも早い時期に出荷する栽培方法を何といいますか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
1. 有機農業 2. 抑制栽培 3. 近郊農業 4. 促成栽培
- 問11 日本の主な工業地帯・地域を比較した統計資料において、製造品出荷額の総額が約8.5兆円と他の大工業地帯に比べて規模が小さく、産業構成の割合が機械工業約41.1%、金属工業約17.9%、食料品工業約16.5%となっている工業地帯はどこですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 北九州工業地帯 2. 京浜工業地帯 3. 阪神工業地帯 4. 中京工業地帯
- 問12 鹿児島県などに広がるシラス台地において、古くから稲作よりも畑作や畜産が盛んに行われてきた理由として、土壌の性質の観点から最も適切な説明はどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 非常に水はけが良く、水田に必要な水を蓄えておくことが困難なため 2. 標高が高く年間を通じて気温が低いため、稲の成長が著しく遅れるため 3. 河川から運ばれた土砂が固く堆積しており、田を耕すことができないため 4. 土壌に含まれる塩分濃度が高く、稲の根が枯れてしまうため
- 問13 日本の火山に関連する地形の説明のうち、カルデラの形成過程や特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 海岸付近で土砂が堆積し、低くて平らな土地が広がった地形である。 2. 火山の大規模な噴火により、地表が陥没するなどしてできた大きなくぼ地である。 3. 火山の噴出物が風によって運ばれ、広範囲にわたって厚く堆積した平坦な台地である。 4. 河川が山間部から平野へ流れ出る出口において、土砂が扇状に堆積した地形である。